防災企業連合　関西そなえ隊　第11回定例会

ワークショップハーベスト

**●チーム平井**

**「行政との窓口」**

・自治体の防災活動との連携（窓口組織として）

・行政からの相談窓口的な存在となる

・各行政機関の防災担当部門とそなえ隊とのつながり

**「訓練実施、ノウハウの蓄積」**

・担当業務における問題点についての助言と解決方法の提案

・防災訓練のあり方

・消防計画のレベルアップ

・BCPの作成

・さまざまなシーンを想定した防災訓練（職場、通勤など）

・マンションでの防災の展開（特にポイントの勉強会）

・避難誘導の実践、やり方とそのポイント

「製品開発、サービス開発」

・共同での商品開発

・共同開発

**「そなえ隊」**

・明確なメリット

**「隊員同士のマッチング・情報交換・地域貢献」**

・異業種との交流と情報交換の場

・地域貢献のあり方、CSRの取り組み

・ビジネスマッチング（商品、サービスの紹介）

・おすすめ防災グッズ情報共有

・異業種ビジネスマッチング

（マッチングが出来なくとも求め合う内容の紹介など出来れば良いのではないか）

・他の情報発信団体とのコラボ

・幹事様による隊員企業の訪問＆ヒアリング

・隊員数、どんな企業が集まっているのか分からない

・情報と発信

**●チーム相島「人の命を守りたい！！」**

**「そなえ隊のデメリット：方向性が分からない」**

・運用費用、時間面での企業体力（ボランティア活動ではない）

・活動予算

・費用対効果

・事業として成立するか？

・何をビジネス展開できるのか！持ち株式の設立などは！

・産官の連絡

・学校への「仲介」が必要

・「防災は防災」／「福祉は福祉」

・「重要ですね！！」だけどね…（緊急度が低い）「助成金があれば」

・ボランティアの立場と営利の立場の違い、交わりにくい。

・ビジネスと活動の両立

**「そなえ隊のメリット」**

・自社に防災の意識をもっと持ってもらうために活用

・防災対策の基準づくり

・防災用品の販売、防災用品の展示会

・各社お困りごとはいっぱい…？　⇒聞いていこう！！

・防災減災関連の商品開発

・企業の営業のプロの方たちと「学校」での交流会

**・MAP作成（防犯・防災）**

・「うちとこ　こんなんやってんねん」シェアする場（非常食・マニュアルなど）

・ビジネスマッチング支援

・防災企業交流のみ

・災害に対する危機感を持っていただく場

・モノ、サービス、知識（情報）を知ってもらう場

・防災だけに留まらない企業、人の繋がり

・異業種交流　そなえ隊主催の防災訓練、防災関係の知識アップ、防災関係のニーズ

・そなえ隊企業の「そなえ隊」としてのカタログ作成（場面に応じた、シナリオのあるカタログ）

・小学校（学校）への啓もう、学校での防災教育

・障がい者の特性に合わせた防災対策・要援護者の防災

・企業の営業のプロの方たちと防災実践訓練

・企業活動の目を通した「弱み（障がい特性）」の活かし方

・公共機関とのコラボ

・NPOとして産、官のパイプ役に

・そなえ隊の組織で会社の設立、株式会社の設立！

・行政寄りの補助、支援金を如何に抽出するための企画案

●チーム坂本

「地域」

・地域の情報発信コミュニティー

・認定外保育所（若い命）の防災を応援する　マニュアルがない！

・地域防災活動のブラッシュアップ　もっと良いものに！！

・地域社協はどこへ相談したらよいか　政府？プロがいない　素人？

・防災グッズ＝交わされるイメージ　昔のイメージ　買いたくなるようなものに　解決するために①

「情報　メディア」

・有効な情報伝達手段の構築についての情報発信

・災害情報の共有化（勉強会）

・防災情報伝達に関するヒントの収集

・防災関連製品の情報収集

↓

・情報メディアの使い方

・自然災害に対する無関心さ！！　もしもの時は…

「活動　そなえ隊啓発」

・そなえ隊の活動内容が不明確？

・広告（高額！）

・金（政府）

・誰にどこにアピールするの？？？

・隊員少ない　展示など出展企業増やしたい

・防災関連窓口の一元化（効率化）

・もっと沢山の企業の参加を促す

・ソフトの充実　草の根啓発　ターゲット　主婦

・東京防災的なそなえ隊オリジナル

「新規　新しい活動」

・提案を形にしてくださる会社とのマッチングで減災グッズの開発

・新製品を作り出す（大阪発の！！）

・そもそも防災に何が必要なのか？　物資？

↓

・アイデアに向けてのステップ

・たこ焼きの形をした防災グッズ

**・そなえ隊ラップ　便利（東日本大震災）　広告！！　⇒　広告は高額！！**

⇒**ぼうさいカフェ**